

日本農薬学会第 41 回大会プログラム

日時：平成 28 年 3 月 17 日(木)～3 月 19 日(土)

会場：くにびきメッセ(島根県立産業交流会館)(〒690-0826 松江市学園南 1-2-1)

島根大学(松江キャンパス)(〒690-8504 松江市西川津町 1060)

大会日程

3 月 17 日(木) くにびきメッセ(島根県立産業交流会館)3 階 国際会議場

総会および授賞式	9:00-10:30
会務報告, 会計監査報告, 議事	
日本農薬学会賞授賞式	

平成 28 年度日本農薬学会賞受賞者講演

奨励賞	10:30-11:10
業績賞(研究)	11:10-11:45
業績賞(技術)	13:00-14:45

特別講演	14:55-16:45
------	-------------

懇親会・受賞祝賀会 ホテル一畑	18:00-20:00
-----------------	-------------

3 月 18 日(金)島根大学(松江キャンパス)大学ホール, 教養講義室棟 2 号館

一般講演, シンポジウム, 編集委員会企画セミナー, ランチョンセミナー, 展示	9:00-18:35
--	------------

3 月 19 日(土)島根大学(松江キャンパス)大学ホール, 教養講義室棟 2 号館

一般講演, シンポジウム, 技術士試験対策セミナー, ランチョンセミナー, 展示	8:45-18:15
--	------------

平成 28 年度日本農薬学会賞受賞者講演

3 月 17 日(木) くにびきメッセ(島根県立産業交流会館)・3 階 国際会議場

奨励賞

AL1 平田晃一(日本曹達(株)) 10:30-10:50
「神経系作用化合物の作用機構に関する研究」
座長: 尾松正人

AL2 謝 肖男(宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センター) 10:50-11:10
「根寄生雑草種子発芽刺激物質の構造解析研究」
座長: 石原 亨

業績賞(研究)

AL3 夏目雅裕(東京農工大学大学院農学研究院) 11:10-11:45
「微生物の生長や分化に関わる生理活性天然物の研究」
座長: 石原 亨

業績賞(技術)

AL4 佐伯 学, 矢野哲彦, 中屋潔彦, 玉田佳丈(日産化学工業(株)) 13:00-13:35
「水稻用除草剤「メタゾスルフロン」の開発」
座長: 町谷幸三

AL5 中谷昌央¹, 山地充洋², 本田久志², 内田幸生³ 13:35-14:10
(¹(株)ケイ・アイ研究所, ²クミアイ化学工業(株), ³イハラケミカル工業(株))
「畑作用除草剤「ピロキサスルホン」の開発」
座長: 中平国光

AL6 木戸庸裕, 沖田洋行, 岡村充康, 竹内 崇, 森田 健(北興化学工業(株)) 14:10-14:45
「水稻用除草剤「イプフェンカルバゾン」の開発」
座長: 大山和俊

特別講演

3 月 17 日(木) くにびきメッセ(島根県立産業交流会館)・3 階 国際会議場

PL1 Parag R. Chitnis

14:55－15:50

(Deputy Director, National Institute of Food and Agriculture, USDA)

「Pesticides in the Food and Agricultural Systems of the Future」

座長: 田中啓司

PL2 水光正仁(宮崎大学理事・副学長)

15:50－16:45

「薬物代謝および生体機能における硫酸化の役割」

座長: 尾添嘉久

シンポジウム1

3月18日(金) 島根大学(松江キャンパス)・大学ホール(A会場)

「殺虫剤研究/QSAR 研究の進歩」

オーガナイザー: 田中啓司 (近畿大学農学部/名古屋大学未来材料・システム研究所)

尾添嘉久 (島根大学生物資源科学部)

開会挨拶	13:45-13:50
S101 温故知新—害虫防除剤デザインの工夫から 山本 出 (東京農業大学)	13:50-14:40
S102 Picolinic Acid 系オーキシシン除草剤における構造変換 藤田稔夫 (京都大学)	14:40-15:30
S103 Novel Metabolic Reactions and Secondary Targets of Pesticide Action John E. Casida (University of California Berkeley) [オーディオ/ビジュアル講演]	15:30-16:20
S104 ケミカルバイオロジー研究法による殺虫剤の分子設計と毒理学 冨澤元博 (東京農業大学応用生物科学部)	16:20-16:45
S105 脱皮ホルモン様活性化合物の QSAR とドッキングシミュレーション 中川好秋 (京都大学院農学研究科・応用生命科学専攻)	16:45-17:10
S106 SAR を基盤にミトコンドリア複合体-I 阻害剤の作用機構を考える 三芳秀人, 村井正俊 (京都大学大学院農学研究科)	17:10-17:35
S107 その後わかった BHC の Toxicology 田中啓司 (近畿大学農学部/名古屋大学未来材料・システム研究所)	17:35-18:00
S108 有害生物防除ターゲットとしてのイオンチャネルと GPCR 尾添嘉久 (島根大学生物資源科学部)	18:00-18:25
閉会挨拶	18:25-18:30

シンポジウム2

3月18日(金) 島根大学(松江キャンパス)・教養講義室棟2号館2階504教室(B会場)

「新アプローチによる生物制御剤ターゲットの探索」

共催: 農薬バイオサイエンス研究会

オーガナイザー: 乾 秀之 (神戸大学遺伝子実験センター)

尾添嘉久 (島根大学生物資源科学部)

開会挨拶 13:45-13:50

S201 TRP Channels as Insecticide Targets 13:50-14:30
Vincent L. Salgado¹, Ramani Kandasamy¹, Katherine Lelito¹, Brecht London¹, Alexandre Nesterov¹,
Lynn Stam¹, Christian Spalthoff², Martin C. Goepfert² (¹BASF Corporation, ²Department of Cellular
Neurobiology, University of Göttingen)

S202 ミトコンドリア呼吸鎖活性を制御するユビキノン結合性タンパク質 Coq10 の機能 14:30-15:10
村井正俊, 三芳秀人 (京都大学大学院農学研究科)

S203 昆虫の摂食行動を支配する内分泌ネットワーク 15:10-15:50
永田晋治 (東京大学大学院新領域創成科学研究科)

S204 移動特性が異なる2種類の天然オーキシンの作用機構 15:50-16:30
笠原博幸 (東京農工大学グローバルイノベーション研究機構, 理研・CSRS)

S205 オミクス解析による根寄生雑草選択的除草剤の標的探索 16:30-17:10
岡澤敦司 (大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科)

S206 形態プロファイリングによる細胞内標的予想 17:10-17:50
大矢禎一 (東京大学大学院新領域創成科学研究科)

S207 希少糖の農業資材利用の可能性について 17:50-18:30
秋光和也¹, 松平一志¹, 安喜絢花¹, 望月 進¹, 加野彰人¹, 吉原明秀¹, 五味剣二¹,
市村和也¹, 福元健志², 小原敏明², 重松由夫², 海老原耕一², 石田 豊³, 大谷耕平⁴,
何森 健¹ (¹香川大学・農学部, ²三井化学アグロ, ³四国総研, ⁴松谷化学工業)

閉会挨拶 18:30-18:35

シンポジウム3

3月18日(金) 島根大学(松江キャンパス)・教養講義室棟2号館3階604教室(C会場)

「農薬の生態リスク評価の最近の動向－室内試験と野外での影響を繋ぐために」

オーガナイザー: 稲生圭哉(農業環境技術研究所)

井藤和人(島根大学生物資源科学部)

開会挨拶, 趣旨説明	13:45－13:55
S301 水産登録保留基準の現状と課題 小笠原毅輝 (環境省農薬環境管理室)	13:55－14:35
S302 生物個体群の回復性と成長による感受性の変動を考慮した毒性評価の試み ーコガタシマトビケラの室内個体群動態モデルを活用してー 横山淳史 (農業環境技術研究所)	14:35－15:15
S303 メソコスム試験の最前線 五箇公一 (国立環境研究所生物・生態系環境研究センター)	15:15－15:55
S304 河川底生動物を対象とした野外調査結果から金属の“安全”濃度を推定する 岩崎雄一 (東洋大学生命環境科学研究センター)	15:55－16:35
S305 室内試験から野外での影響までの共通解析基盤としての種の感受性分布 永井孝志 (農業環境技術研究所)	16:35－17:15
総合討論	17:15－17:55
閉会挨拶	17:55－18:00

シンポジウム4

3月19日(土) 島根大学(松江キャンパス)・大学ホール(A会場)

「農薬をよく知ってもらうための情報伝達」

共催:農薬工業会, 日本農薬学会環境委員会

オーガナイザー:與語靖洋(農業環境技術研究所)

宮川 恒(京都大学大学院農学研究科)

巢山弘介(島根大学生物資源科学部)

開会挨拶, 趣旨説明	13:45-13:50
S401 農薬研修会と指導者の認定システム, 並びに農薬理解促進のための農薬工業会活動 廣岡 卓(農薬工業会)	13:50-14:30
S402 生産者への情報伝達について 天野昭子(岐阜県病虫害防除所)	14:30-15:10
S403 なぜ消費者の誤解はなくなるのか 平沢裕子(産経新聞文化部)	15:10-15:50
S404 農薬はどう教えられているか 宮川 恒(京都大学大学院農学研究科)	15:50-16:30
S405 農薬関連の講義におけるいくつかの試みと受講生の反応 巢山弘介(島根大学生物資源科学部)	16:30-17:10
総合討論	17:15-17:55
閉会挨拶	17:55-18:00

編集委員会企画セミナー(ランチョンセミナー)

3月18日(金) 島根大学(松江キャンパス)・教養講義室棟2号館

12:30-13:30

会場:3階603教室(G会場)

1. 編集委員長と話そう! ~初めての論文投稿で気を付けるべきポイントは? ~
夏目雅裕(日本農薬学会編集委員長, 東京農工大学大学院教授)
2. 参加者と編集委員長との意見交換

★募集人数:40名(当日の朝8:30から受付付近でチケットを配布します。奮ってご参加ください。)

技術士試験対策セミナー(ランチョンセミナー)

3月19日(土) 島根大学(松江キャンパス)・教養講義室棟2号館

12:30-13:30

会場:3階603教室(G会場)

1. 制度と試験
橋本良子(技術士育成推進委員会委員, 首都大学東京)
12:30-12:40
2. 合格体験談
今瀧博文(シンジェンタジャパン株式会社)
12:40-13:05
3. 合格体験談
堅石秀明(株式会社クレハ)
13:05-13:30

★募集人数:50名(当日の朝8:30から受付付近でチケットを配布します。奮ってご参加ください。)

ランチョンセミナー

3月18日(金) 島根大学(松江キャンパス)・教養講義室棟2号館

12:30-13:30

L1 エンヴィーゴ株式会社

会場:2階501教室(D会場)

演題:US EPA Regulatory Risk Assessments. Focus on Pollinators (bees) and Pesticide Worker Exposure
演者:Katie Barrett, Carole Jenkins, Ephi Gur (Envigo, Huntingdon, Envigo, North Carolina)

L2 株式会社菱化システム

会場:3階601教室(E会場)

演題:農薬開発における遺伝子発現データベースの活用とその応用事例
演者:石井 聡(株式会社菱化システム 科学技術システム事業部)

L3 Quotient Bioresearch [世話役:バイオブリッジ株式会社]

会場:4階702教室(F会場)

演題: Plant Metabolism: An Integrated Approach

ー植物代謝試験: 標識体合成からフィールドワーク, 代謝物分析まで一貫した取り組みー

演者: Adrian Waring¹, Alan Gamblin² (¹Quotient BioResearch, ²AgroChemex)

3 月 19 日(土) 島根大学(松江キャンパス)・教養講義室棟 2 号館

12:30ー13:30

L4 日本チャールス・リバー株式会社

会場: 2 階 501 教室(D 会場)

演題: Regulatory Plant Metabolism Studies – Overcoming Biological and Chemical Challenges

演者: David Macpherson, Simon Chapleo (Charles River Edinburgh)

L5 EAG/ナノサイエンス株式会社

会場: 3 階 601 教室(E 会場)

演題: 現行家畜代謝試験テストガイドライン要求項目の適切性ー実データからの考察ー

演者: 李曉丹(EAG/ナノサイエンス株式会社)

L6 LANDIS International, Inc. [世話役: 株式会社エルエスピー]

会場: 4 階 702 教室(F 会場)

演題: How the US Courts Can Influence EPA Registrations and Policies

ー米国における EPA の登録と方針に対する裁判の影響ー

演者: Lisa Ayn Setliff, Kevin J. Sweeney (LANDIS International, Inc.)

★各ランチョンセミナーでは, 弁当が 100 名まで無料で提供されます。チケットは, 各セミナー当日の朝 8:30 から受付付近で配布します。奮ってご参加ください。

展示会

島根大学(松江キャンパス)・教養講義室棟 2 号館 2 階 502 教室

3 月 18 日(金) 9:00ー18:00

3 月 19 日(土) 9:00ー16:00

出展: 株式会社 菱化システム

株式会社 化合物安全性研究所

株式会社 LSI メディエンス

LANDIS International Inc. (共催: 株式会社 エルエスピー)

株式会社京都コンステラ・テクノロジーズ/株式会社アフィニティサイエンス

講演日程一覧

	A 会場 (大学ホール)	B 会場 (504 教室)	C 会場 (604 教室)
3 月 18 日 (金)	一般講演	一般講演	一般講演
9:00-12:15	作用機構・抵抗性	残留・分析法	代謝・分解・動態
12:30-13:30	ランチョンセミナー (D 会場, E 会場, F 会場), 編集委員会企画セミナー (G 会場)		
	シンポジウム 1	シンポジウム 2	シンポジウム 3
13:45-18:35	殺虫剤研究／QSAR 研究の進歩	新アプローチによる 生物制御剤ターゲットの探索	農薬の生態リスク評価の最近の動向 ー室内試験と野外での影響を 繋ぐために
3 月 19 日 (土)	一般講演	一般講演	一般講演
8:45-12:15	生物活性・検定法	残留・分析法 環境科学・生態影響 合成プロセス・グリーンケミストリー	分子設計
12:30-13:30	ランチョンセミナー (D 会場, E 会場, F 会場), 技術士試験対策セミナー (G 会場)		
	シンポジウム 4	一般講演	一般講演
13:45-18:15	農薬をよく知ってもらうための 情報伝達	天然物化学	作用機構・抵抗性

ランチョンセミナー会場

	D 会場 (501 教室)	E 会場 (601 教室)	F 会場 (702 教室)	G 会場 (603 教室)
3 月 18 日 (金)	エンヴィーゴ (株)	(株) 菱化システム	Quotient Bioresearch / バイオブリッジ (株)	編集委員会企画セミナー
12:30-13:30				
3 月 19 日 (土)	日本チャールス・リバー (株)	EAG/ナノサイエンス (株)	LANDIS International Inc./ (株) エルエスピー	技術士試験対策セミナー
12:30-13:30				

大会日程表

第 1 日 3 月 17 日（木）		第 2 日 3 月 18 日（金）				第 3 日 3 月 19 日（土）			
くにびきメッセ （島根県立産業交流会館）		島根大学・大学ホール, 教養講義室棟 2 号館				島根大学・大学ホール, 教養講義室棟 2 号館			
総会および 日本農薬学会賞授賞式		開始 時刻	A 会場 （大学ホール）	B 会場 （504 教室）	C 会場 （604 教室）	開始 時刻	A 会場 （大学ホール）	B 会場 （504 教室）	C 会場 （604 教室）
9:00	総会	9:00	A201	B201	C201	8:45			C301
		9:15	A202	B202	C202	9:00	A301	B301	C302
10:00	授賞式	9:30	A203	B203	C203	9:15	A302	B302	C303
受賞者講演		9:45	A204	B204	C204	9:30	A303	B303	C304
10:30	奨励賞 1	10:00	A205	B205	C205	9:45	A304	B304	C305
10:50	奨励賞 2	10:15	A206	B206	C206	10:00	A305	B305	C306
11:10	業績賞(研究)	10:30	A207	B207	C207	10:15	A306	B306	C307
		10:45	A208	B208	C208	10:30	A307	B307	C308
11:45 ~ 13:00	昼食休憩	11:00	A209	B209	C209	10:45	A308	B308	C309
13:00	業績賞(技術)1	11:15	A210	B210	C210	11:00	A309	B309	C310
13:35	業績賞(技術)2	11:30	A211	B211	C211	11:15	A310	B310	C311
14:10	業績賞(技術)3	11:45	A212	B212	C212	11:30	A311	B311	C312
14:45	休憩	12:00	A213		C213	11:45		B312	C313
14:55	特別講演 1	12:30 ~ 13:30	ランチョンセミナー(D 会場, E 会場, F 会場) 編集委員会企画セミナー(G 会場)			12:00		B313	C314
15:50	特別講演 2	13:45	シンポジウム 1 S101-S108 (終了 18:30)	シンポジウム 2 S201-S207 (終了 18:35)	シンポジウム 3 S301-S305 (終了 18:00)	12:30 ~ 13:30	ランチョンセミナー(D 会場, E 会場, F 会場) 技術士試験対策セミナー(G 会場)		
16:45 ~ 18:00	会場移動					13:45	シンポジウム 4 S401-S405 (終了 18:00)	B314	C315
18:00 ~ 20:00	懇親会 受賞祝賀会					14:00		B315	C316
						14:15		B316	C317
						14:30		B317	C318
						14:45		B318	C319
						15:00		B319	C320
						15:15		B320	C321
						15:30		B321	C322
						15:45		B322	C323
						16:00		B323	C324
						16:15		B324	C325
						16:30		B325	C326
						16:45		B326	C327
						17:00		B327	C328
						17:15		B328	C329
						17:30		B329	C330
						17:45			C331
						18:00			C332

シンポジウム座長一覧

平成 28 年	A 会場	B 会場	C 会場
3 月 18 日(午後)	梅津憲治	下村 勝	井藤和人
	(S101)	(S201)	(S301)
	尾添嘉久	坂元君年	井藤和人
	(S102)	(S202)	(S302)
	富澤元博	太田広人	稲生圭哉
	(S103)	(S203)	(S303)
	日野智和	河合 清	稲生圭哉
	(S104)	(S204)	(S304)
	赤松美紀	宮下正弘	稲生圭哉
	(S105)	(S205)	(S305)
3 月 19 日(午後)	勝田裕之	中野元文	
	(S106)	(S206)	
	中川好秋	西 甲介	
	(S107)	(S207)	
	田中啓司		
	(S108)		
	宮川 恒		
	(S401)		
	宮川 恒		
	(S402)		
	宮川 恒		
	(S403)		
	與語靖洋		
	(S404)		
	與語靖洋		
	(S405)		

一般講演座長一覧

平成 28 年	A 会場	B 会場	C 会場
3 月 18 日(午前)	梅村賢司 (A201-A204)	藤田眞弘 (B201-B203)	渡邊裕純 (C201-C203)
	河合 清 (A205-A207)	上野英二 (B204-B206)	高木和広 (C204-C206)
	岡澤敦司 (A208-A210)	島村裕二 (B207-B209)	村野宏達 (C207-C209)
	仲下英雄 (A211-A213)	坂真智子 (B210-B212)	元場一彦 (C210-C213)
	野下浩二 (A301-303)	乾 秀之 (B301-B304)	塩月孝博 (C301-C303)
	竹内 純 (A304-306)	山本幸洋 (B305-B308)	村井正俊 (C304-C307)
	加登一成 (A307-A308)	采女英樹 (B309-B311)	宮下正弘 (C308-C310)
3 月 19 日(午前)	藤村 真 (A309-A311)	清田洋正 (B312-313)	謝 肖男 (C311-C314)
		田母神繁 (B314-317)	平田晃一 (C315-C318)
		石原 亨 (B318-B321)	山本幸治 (C319-C321)
		甲斐建次 (B322-B325)	葛西真治 (C322-C325)
		網干貴子 (B326-B329)	旭 美穂 (C326-C329)
			中尾俊史 (C330-C332)

第 41 回大会(松江)実行委員会

実行委員長:尾添嘉久(島根大学)

委員:池田 泉(島根大学)

井藤和人(島根大学)

大山和俊(残留農薬研究所)

塩月孝博(農業生物資源研究所)

田中啓司(近畿大学/名古屋大学)

古田賢次郎(島根大学)

石原 亨(鳥取大学)

太田広人(熊本大学)

岡本 敏(島根県農業技術センター)

巢山弘介(島根大学)

林 昌平(島根大学)

一般講演についてのお願い

講演はすべて、Microsoft PowerPointで作成されたファイルを液晶プロジェクターで投影して行います。講演時にトラブルが起きないように、下記の注意点を参考にしてファイルの作成と受付を行ってください。使用するノートパソコン（OS: Windows 7）には、最新のMicrosoft PowerPoint Viewer（無料ソフト）がインストールされています。演台上のPCは、補助者はつきますが、原則として演者の方ご自身で操作していただきます。

ファイル作成の注意点

- (1) 発表1題につき1つのファイルを作成し、ファイル名は講演番号_講演者名（半角英数のみ使用）.ppt（あるいは.pptx）としてください。
例: A101_Shimane.ppt
- (2) 講演時間は1題15分（講演12分、討論3分）です。12分の発表時間に適したスライドの枚数にしてください。また、遠距離からも十分見えるよう、文字のサイズやフォントの選択に留意してください。
- (3) スライド中に使用するフォントは、文字化けを防ぐために機種依存文字(①, (株)など)の使用は、極力避けてください。
- (4) 動画等を含む大容量のファイルはトラブルの原因になりますので、極力避けてください。やむを得ない場合は、ファイルを可能な限り圧縮してください。
- (5) 作成されたファイルはWindows版のPowerPointでスムーズにスライドショーができることを確認してください。特にMacintoshをご使用の方は、ファイルをお持ちいただく前に、Windows版のPowerPointで動作確認を各自お願いいたします。特にフォントずれや文字化け、オブジェクトの非認識等にご注意ください。

データ受付の流れ

発表ファイルの受付は、原則として 3月17日(木)（一般講演前日）に済ませてください。発表者が受付できない場合は、共同発表者の方が代わりに行ってください。発表直前の受付はご遠慮ください。

- (1) 発表用ファイルはUSBメモリに保存してお持ちください。
- (2) 総会会場の受付付近に設置した「発表ファイル受付」にて、ウィルスチェックを行なった後、発表ファイルをコピーしていただき、スライド動作に問題がないかどうかを確認してください。
- (3) 万が一のトラブルに備え、発表用ファイルの入ったUSBメモリは、発表時にご持参ください。
- (4) 大会終了後は、講演会場用PCにコピーされた発表ファイルは大会実行委員立会いの下、確実に削除いたします。

一般講演

講演 12 分, 討論 3 分 (1 鈴 10 分, 2 鈴 12 分, 3 鈴 15 分)

第 2 日 3 月 18 日(金)午前の部 A 会場 (大学ホール)

9:00	A201	ストリゴラクトンがイネの誘導抵抗性に与える影響の解析 ○森貴将 ¹ , 草島美幸 ¹ , 浅見忠男 ² , 仲下英雄 ¹ (¹ 福井県大・生資, ² 東大院農生科・応生化)
9:15	A202	トマトの全身獲得抵抗性に対する植物ホルモンの影響の解析 ○奥村泰子, 草島美幸, 仲下英雄 (福井県立大・生物資源)
9:30	A203	新規植物免疫活性化剤の作用機構の解析 ○北畑信隆 ^{1,2} , 吉川岳史 ¹ , 羽山大介 ¹ , 吉田亜祐美 ¹ , 末次真悠 ¹ , 大滝幹 ¹ , 来須孝光 ^{2,3} , 上田貴志 ⁴ , 浅見忠男 ⁵ , 朽津和幸 ^{1,2} (¹ 東京理大・理工, ² 東京理大・IFC, ³ 東京工科大・応用生物, ⁴ 東大院・理, ⁵ 東大院・農生科)
9:45	A204	プラントアクチベーターのウイルス感染抑制効果の検定系の開発 ○小松健 ¹ , 松尾優希 ² , 鈴木健央 ¹ , 寺岡徹 ¹ , 有江力 ¹ (¹ 農工大農, ² 農工大農)
10:00	A205	フェニル酢酸構造類縁体を用いたイネ苗立枯細菌病の発病抑制 ○立花誠治 ¹ , 王 蒙岑 ² , 橋床泰之 ¹ (¹ 北大農・応生科, ² 浙江大・農薬環境研)
10:15	A206	<i>Fusarium fujikuroi</i> のイプコナゾールに対する感受性とチトクロム P450 遺伝子 (<i>CYP51</i>) の塩基配列と発現量, およびトランスポーター遺伝子 (<i>CF245</i>) の発現量の関係 ○堅石秀明 ¹ , 三宅泰司 ¹ , 須賀晴久 ² (¹ (株)クレハ, ² 岐大生命セ)
10:30	A207	アカパンカビのチトクローム b の G143S と G137E 変異株の単離と QoI 感受性 ○藤村真, 森田昭, 亀井誠之, 山下和宏 (東洋大・生命)
10:45	A208	殺菌剤イソプロチオランが根毛伸長に及ぼす影響の解析 ○草島美幸, 井上真依, 仲下英雄 (福井県立大・生物資源)
11:00	A209	殺菌剤イソプロチオランが根の伸長生長に及ぼす影響の解析 ○井上真依, 草島美幸, 仲下英雄 (福井県立大・生物資源)
11:15	A210	薬剤代謝に関与する植物シトクローム P450 の機能解析 ○山本峻資, 種谷良貴, 池田光政, 河合清 (クミアイ化学工業(株))
11:30	A211	イネにおける 4-HPPD 阻害型除草剤感受性原因遺伝子の特定と育成系譜解析 ○関野景介 ¹ , 山崎明彦 ¹ , 村田和優 ² , 前田英郎 ³ , 加藤浩 ⁴ , 山田祐司 ¹ , 廣瀬咲子 ⁴ , 吉田均 ⁵ , 安東郁男 ⁵ , 川岸万紀子 ⁵ , 谷口洋二郎 ⁵ , 川田元滋 ⁵ , 大島正弘 ⁵ (¹ (株)エス・ディー・エス バイオテック, ² 富山県・農林水産総合技術センター, ³ 農研機構・中央農業総合研究センター, ⁴ 農業生物資源研究所, ⁵ 農研機構・作物研究所)

- 11:45 A212 イネにおける *HIS1* (*4-HPPD INHIBITOR SENSITIVE 1*) の作用解析
○山崎明彦¹, 関野景介¹, 山田祐司¹, 前田英郎², 村田和優³, 加藤浩⁴, 吉田均⁵,
川岸万紀子⁵, 廣瀬咲子⁴, 谷口洋二郎⁵, 川田元滋⁵, 大島正弘⁵, 戸澤譲⁶ (¹(株)
エス・ディー・エス バイオテック, ²農研機構・中央農業研究センター, ³富山県・
農林水産総合技術センター, ⁴農業生物資源研究所, ⁵農研機構・作物研究所, ⁶埼
玉大学大学院・理工学研究科)
- 12:00 A213 根寄生雑草防除研究へ展開するためのトマト変異体のスクリーニング
○岡澤敦司, 橋本千里, 水川翔太, 小川拓水, 青木考, 太田大策 (大阪府大学大学
院・生命環境科学研究科)
-

第2日 3月18日(金)午前の部 B会場 (教養講義室等2号館2階504教室)

9:00	B201	FT-IRを用いた集取農薬と農薬見本の同等性の確認 ○渡辺高志, 塚田勇輝 (農林水産消費安全技術センター・農薬検査部)
9:15	B202	JAグループで実施した残留農薬分析における外部技能試験成績に関する考察 ○島村裕二 ¹ , 藪崎隆 ¹ , 古屋昌義 ¹ , 松尾潤一 ¹ , 吉原路子 ² , 岩田仁 ² (¹ JA全農 営農・技術センター, ² 一般財団法人日本食品分析センター)
9:30	B203	エフコープ生活協同組合における食品中残留農薬検査の現状 ○橋本智之 ¹ , 尾寄晶子 ¹ , 鈴木智弘 ¹ , 斎藤勲 ² (¹ エフコープ生活協同組合・商品検査センター, ² 日本生活協同組合連合会・商品検査センター)
9:45	B204	水稻育苗ハウスにおける育苗期施用剤の後作葉菜類での農薬残留 ○佐山玲, 篠田光江, 藤井直哉 (秋田県農業試験場)
10:00	B205	スイカ及びメロンの果実表面への農薬付着量の比較 ○長田拓也, 藤田由紀, 逆井美智子, 飯島和昭, 大山和俊 (残留農薬研究所)
10:15	B206	レタス, キャベツの残留農薬自主検査に向けた散布農薬の部位別付着量の検討 ○望月証, 神頭武嗣 (兵庫県立農林水産技術総合センター・農業技術センター)
10:30	B207	ミツバチー頭を試料とした残留農薬分析法の検討 ○大石桂輔, 石原悟 ((独)農林水産消費安全技術センター農薬検査部)
10:45	B208	キャリアーガスの違いによるキャピラリーGC分析結果への影響ー第2報ー ○塚田勇輝, 倉浪佑実子, 木村穰, 渡辺高志 (農林水産消費安全技術センター・農薬検査部)
11:00	B209	ジチオカルバメート系農薬の迅速分析法の開発 ○垣谷彩乃, 吉岡俊暁, 永富康司, 原山耕一 (アサヒグループホールディングス(株)食の安全研究所)
11:15	B210	茶等の残留農薬分析におけるマトリックス除去の検討 ○堀伸二郎 ¹ , 田中嘉晴 ² , 中田俊芳 ³ , 久保明日香 ³ , 川寄悦子 ³ (¹ 元大阪府立公衆衛生研究所, ² 三栄源エフ・エフ・アイ(株), ³ (株)日吉)
11:30	B211	High resolution residue mapping by CCSLC ○Torsten Spitzer (Environmental, Industrial and Food Analysis)
11:45	B212	27種類の安定同位体標識農薬を内標準に用いたデュアルカラムGC-MSによる食品中残留農薬の多成分分析 ○上野英二 ^{1,2} , 梅村優子 ¹ , 渡邊美奈恵 ¹ , 猪飼誉友 ¹ , 山崎貢 ² (¹ 愛知県衛生研究所, ² 愛知県一宮保健所)

第2日 3月18日(金)午前の部 C会場 (教養講義室等2号館3階604教室)

- | | | |
|-------|------|---|
| 9:00 | C201 | 黒ボク土露地畑における土壌くん蒸時の大気中くん蒸剤濃度の分布と推移
○山本幸洋 ¹ , 原田浩司 ¹ , 武田藍 ¹ , 國友映理子 ¹ , 塩見崇史 ² , 小原裕三 ³ (¹ 千葉農林総研, ² (株)数理計画, ³ 農環研) |
| 9:15 | C202 | 標準的なシナリオ条件下での土壌くん蒸剤の大気移行フラックスの評価
○小原裕三 ¹ , 中島典行 ¹ , 山本幸洋 ² , 原田浩司 ² , 田中昭人 ³ , 三宅圭 ³ , 市原勝 ⁴ , 野村誠 ⁴ (¹ 農業環境技術研究所, ² 千葉県農林総合研究センター, ³ 徳島県立農林水産総合技術支援センター, ⁴ 高知県農業技術センター) |
| 9:30 | C203 | 室内試験による土壌くん蒸剤(カーバムナトリウム塩・ダゾメット)処理時のガスバリアー性フィルム直下気中 MITC 濃度減衰期(DT ₅₀ , DT ₉₀)の簡易推定
○野村誠 ¹ , 市原勝 ¹ , 小原裕三 ² (¹ 高知県農技セ, ² 農業環境技術研究所) |
| 9:45 | C204 | Al, Fe イオンと腐植の複合体形成が農薬の土壌吸着に与える影響: acetamiprid を例として
宇井直斗 ¹ , 鈴木勝大 ¹ , 茅田沙央理 ¹ , 齊藤光彦 ¹ , 弓削直也 ¹ , 有城卓志 ¹ , 渡邊彰 ² , 磯井俊行 ¹ , ○村野宏達 ¹ (¹ 名城大農, ² 名古屋大院生命農学) |
| 10:00 | C205 | Field-scale runoff of imidacloprid, clothianidin and fipronil from upland field under simulated rainfall events
Farag Malhat ^{1,2} , ○Hirozumi Watanabe ¹ (¹ Tokyo University of Agriculture and Technology, ² Central Agricultural Pesticide Laboratory) |
| 10:15 | C206 | Impact of temperatures and moisture regimes on the degradation of imidacloprid, clothianidin and fipronil residues in andisol soil: Laboratory study
○Farag Malhat ^{1,2} , Hirozumi Watanabe ¹ (¹ Tokyo University of Agriculture and Technology, Japan, ² Central Agricultural Pesticide Laboratory) |
| 10:30 | C207 | 活性炭錠剤を用いた水田除草剤の除去方法に関する研究
○殷熙洙 ¹ , 荒木広充 ² (¹ 農技環研, ² 東京シンコール(株)) |
| 10:45 | C208 | チオ硫酸アンモニウム(ATS)を用いたクロロピクリン及び1,3-ジクロロプロペンの化学的分解技術の適用評価
○中島典行, 小原裕三(農業環境技術研究所) |
| 11:00 | C209 | Ni/Fe ナノ粒子とナノバブル N ₂ 水を用いた高塩素化 PCBs (KC500) の還元的脱塩素分解
○高木和広 ¹ , 倉俣正人 ² , 鳥屋部樹 ² , 片原伸郎 ² , 中里雅一 ² (¹ 国立研究開発法人農業環境技術研究所・有機化学物質研究領域, ² KYB(株)・事業開発推進部) |
| 11:15 | C210 | 新規除草剤フェンキノトリオンの土壌における代謝及び残留
○堀田雄大, 小野友慈, 佐藤怜, 池田光政(クミアイ化学工業(株)) |
| 11:30 | C211 | <i>Rhodococcus koreensis</i> S1-1 株におけるエンドサルファンサルフェート分解酵素遺伝子の探索
○伊藤虹児 ^{1,2} , 岡田早苗 ¹ , 高木和広 ^{1,2} (¹ 東農大院・農芸化学専攻, ² (国研)農環研・有機化学物質研究領域) |

11:45	C212	メトキシクロルのラット肝代謝における性差に関する研究ーシトクローム P450 発現系を用いた <i>in vitro</i> 代謝ー ○杉岡大介, 横山恵子, 中村尚徳, 井坂奈々, 林靖, 大山和俊 (一般財団法人残留農薬研究所・化学部)
12:00	C213	新規殺菌剤マンデストロビン異性体のラットにおける代謝 福田貴子, ○永堀博久 (住友化学・生物環境科学研究所)

第3日 3月19日(土)午前の部 A会場 (大学ホール)

9:00	A301	マツノマダラカミキリ以外のマツノザイセンチュウ感染経路の可能性：三保の松原と甚平衛の森における松枯れ調査事例 ○本山直樹 ¹ ，阿部豊 ² ，田畑勝洋 ³ （ ¹ 千葉大学、 ² NPO 松くい虫 [*] 、 ³ 元森林総研）
9:15	A302	新規殺虫剤シクラニプロールに関する研究（第3報）－基礎活性と海外での圃場試験事例－ ○濱本卓，武田千秋，三谷滋，森田雅之，吉田潔充（石原産業(株)）
9:30	A303	ジャスモン酸類縁体を用いた行動制御によるミカンキイロアザミウマ防除 ○大矢武志 ¹ ，安部洋 ² ，櫻井民人 ³ ，松浦昌平 ⁴ ，川田祐輔 ¹ ，浅見忠男 ⁵ ，三富正明 ⁶ ，腰山雅巳 ⁷ （ ¹ 神奈川県農業技術センター、 ² 理研バイオリソースセンター、 ³ 中央農研、 ⁴ 広島県立総合技術研究所農業技術センター、 ⁵ 東京大学、 ⁶ Meiji Seika ファルマ、 ⁷ 日本ゼオン）
9:45	A304	昆虫培養細胞を用いたジアミド系薬剤の感受性検定法の検討 ○秋月岳（農業生物資源研究所・昆虫成長制御研究ユニット）
10:00	A305	新規除草剤トルピラレートに関する研究（第1報） ○菅沼丈人，佐竹良和，小林庸輔，小森冨香，佐野真喜子，永山宗一郎，塚本正満，菊川弘司，三谷滋（石原産業(株)）
10:15	A306	新規除草剤トルピラレートに関する研究（第2報） ○岡本啓之，佐竹良和，小林庸輔，佐野真喜子，永山宗一郎，塚本正満，菊川弘司，三谷滋（石原産業(株)）
10:30	A307	新規殺菌剤イソフェタミド（ケンジャ [®] ）に関する研究第4報 <i>Botrytis cinerea</i> SDHI 剤耐性菌株のイソフェタミドに対する感受性とフィットネス ○阿部ゆずか，小川宗和，三谷滋（石原産業(株)・中央研究所）
10:45	A308	新規 SDHI 剤ベンゾビンジフルピルの各種炭疽病菌に対する生育阻害活性 ○石井英夫 ¹ ，渡辺秀樹 ² （ ¹ 吉備国際大、 ² 岐阜県農業技術センター）
11:00	A309	新規殺菌剤ピカルブトラゾクスに関する研究（第3報）－キュウリべと病に対する特性および防除効果－ ○渡辺慎也，加登一成，小山裕明，山中誉（日本曹達(株)）
11:15	A310	新規殺菌剤ピカルブトラゾクスに関する研究（第4報）－イネ苗立枯病に対する防除効果－ ○加登一成，渡辺慎也，小山裕明，山中誉（日本曹達(株)）
11:30	A311	新規殺菌剤ピカルブトラゾクスに関する研究（第5報）－芝草病害への適用性－ ○池田庸二，荻野智和，大森康弘，山田茂雄（日本曹達(株)）

第3日 3月19日(土)午前の部 B会場 (教養講義室等2号館2階504教室)

9:00	B301	農薬の後作物残留リスク評価に関する研究 第6報 土壌吸着係数 (K_d) の経時変化 ○元木裕 ¹ , 岩船敬 ² , 清家伸康 ¹ , 稲生圭哉 ¹ , 大谷卓 ¹ (¹ 国立研究開発法人農業環境技術研究所, ² 独立行政法人農林水産消費安全技術センター)
9:15	B302	農薬の後作物残留リスク評価に関する研究 第7報 ELISAによる土壌中の水抽出可能な農薬の簡易定量法および土壌診断への適用可能性 ○渡辺栄喜, 清家伸康, 元木裕, 稲生圭哉 (国立研究開発法人農業環境技術研究所)
9:30	B303	農薬の後作物残留リスク評価に関する研究 第8報 植物における有機化学物質の吸収および体内移行 ○大谷卓, 並木小百合, 清家伸康 (国立研究開発法人農業環境技術研究所)
9:45	B304	農薬の後作物残留リスク評価に関する研究 第9報 土耕試験における農薬の各種作物による吸収・移行性の比較 ○並木小百合 ¹ , 大谷卓 ¹ , 元木裕 ¹ , 清家伸康 ¹ , 岩船敬 ² (¹ 国立研究開発法人農業環境技術研究所, ² 独立行政法人農林水産消費安全技術センター)
10:00	B305	農薬の後作物残留リスク評価に関する研究 第10報 土壌から水抽出される農薬の消長—黒ボク土ほ場における深度別評価— ○岩船敬 ¹ , 元木裕 ² , 清家伸康 ² (¹ 独立行政法人農林水産消費安全技術センター, ² 国立研究開発法人農業環境技術研究所)
10:15	B306	農薬の後作物残留リスク評価に関する研究 第11報 ほ場試験によるコマツナの土壌中農薬の吸収性評価 ○清家伸康 ¹ , 元木裕 ¹ , 並木小百合 ¹ , 稲生圭哉 ¹ , 岩船敬 ² (¹ 国立研究開発法人農業環境技術研究所, ² 独立行政法人農林水産消費安全技術センター)
10:30	B307	ウリ科植物が持つ脂溶性汚染物質輸送タンパク質の結合特性の比較 ○岩渕彩 ¹ , 勝手野乃香 ² , 後藤純弥 ¹ , 乾秀之 ^{1,2,3} (¹ 神戸大院・農, ² 神戸大・農, ³ 神戸大・遺伝子)
10:45	B308	稲箱施用殺虫剤(フィプロニル及びイミダクロプリド)のアキアカネ類幼生に対する感受性—感受性の年次変動— ○大津和久 ¹ , 山中武彦 ² (¹ 農業環境技術研究所 有機化学物質研究領域, ² 農業環境インベントリーセンター)
11:00	B309	ペルフルオロ(アルコキシアルキル)基置換ヘテロ環化合物の合成 ○三宅徳顕, 高平祐介, 上牟田大輔, 中野貴志, 松川泰久, 森澤義富 (旭硝子(株))
11:15	B310	抗生物質スピロファンジン A, B の合成研究 阪内啓之 ¹ , 東栄美 ² , 清水由布子 ² , 小嶋美紀子 ² , 朝光優子 ² , 桑原重文 ² , 泉実 ¹ , ○清田洋正 ¹ (¹ 岡山大院・環境生命, ² 東北大院農)
11:30	B311	α -トリフルオロメチルボロン酸エステルを用いた反応の開発 ○郭明, 住井裕司, 徳永恵津子, 柴田哲男 (名工大院工)

11:45	B312	ペンタフルオロスルファニルフェニル基を持つトリアゾールの合成と生物活性 ○徳永恵津子 ¹ , 大楠賢 ¹ , 齋藤記庸 ² , 柴田哲男 ¹ (¹ 名工大院工, ² 宇部興産・医薬事業部)
12:00	B313	Darzens 反応を利用したラクタム天然物群の全合成 ○水谷将馬 ¹ , 谷口透 ² , 小森健太 ¹ , 門出健次 ² , 倉持幸司 ¹ , 椿一典 ¹ (¹ 京府大院・生命環境, ² 北大院・先端生命)

第3日 3月19日(土)午後の部 B会場 (教養講義室等2号館2階504教室)

-
- 13:45 B314 青枯病菌クオラムセンシングシグナル分子の受容体解明を指向したフォトアフィニティープローブの合成
○嶋谷美香¹, 石川詩歩², 森友花², 木場章範², 大西浩平³, 曳地康史², 甲斐建次¹ (¹阪府大院・生命環境, ²高知大学・農, ³高知大学・総研セ)
- 14:00 B315 酵素阻害剤結合ビーズによるアシルホモセリンラクトン合成酵素のプルダウン精製
○山田将太, 赤川貢, 甲斐建次 (阪府大院・生命環境)
- 14:15 B316 生体組織高浸透性薬剤候補物質としてのベタキサンチン構造類縁体調製
○橋床泰之, 羽馬大輔, 浅野純一 (北大院農)
- 14:30 B317 植物病害抵抗性誘導活性を示すアシルポリアミンのライブラリー化と構造活性相関
○山岸卓矢¹, 岩川純也¹, 山野博之¹, 岡田憲典², 浅見忠男¹ (¹東大院農生科・応生化, ²東大・生物生産工学研究センター)
- 14:45 B318 エンバク, イネ, コムギ根の他感物質
○鶴嶋鉄¹, 宮川恒², Osbourn Anne³ (¹阪南大・流通, ²京大院・農, ³John Innes Centre)
- 15:00 B319 根部から地上部への構造・立体化学特異的なストリゴラクトンの輸送
○謝肖男¹, 米山香織¹, 来生貴也¹, 野村崇人¹, 秋山康紀², 浅見忠男³, 米山弘一¹ (¹宇都宮大・バイオ, ²阪府大院・生命環境科学, ³東大院・農生科)
- 15:15 B320 ジャスモン酸処理したイネ葉における β -チロシンの蓄積
○網干貴子¹, Jian Yan², 寺石政義³, 奥本裕³, 石原亨⁴, Georg Jander², 森直樹³ (¹山形大・農, ²ボイス・トンプソン研究所, ³京大院・農, ⁴鳥取大・農)
- 15:30 B321 メチルジャスモン酸を処理したヒナタイノコズチ葉でのゲラニオール代謝機構
○田母神繁, 野下浩二, 阿部誠 (秋田県立大学・生物資源科学)
- 15:45 B322 放線菌の生産する植物毒素 thaxtomin 類縁体の構造と活性 (第三報)
○杉本土朗, 蛭田麻里, 飯島昌世, 川出洋, 夏目雅裕 (農工大院・農)
- 16:00 B323 Antimicrobial metabolites from a welsh onion rhizosphere microbe *Burkholderia cepacia* MBAF1239
○Dandan Li¹, Atsumi Hasada¹, Naoya Oku¹, Masafumi Shimizu², Yasuhiro Igarashi¹ (¹Toyama Prefectural University, ²Gifu University)
- 16:15 B324 マダラサソリ毒液由来の抗菌性ペプチドの構造と活性
○焼尾真緒, 北中淳史, 十一浩典, 宮下正弘, 中川好秋, 宮川恒 (京大院・農)
- 16:30 B325 イネ科植物におけるトリプトファン関連二次代謝産物の蓄積
○小久保悠¹, 西坂美穂¹, 宇部尚樹², 上野琴巳¹, 武田真³, 石原亨¹ (¹鳥取大農, ²鳥取大院・農, ³岡山大・資源植物科学研究所)
- 16:45 B326 オオムギ属植物における防御関連二次代謝産物
○宇部尚樹¹, 西坂美穂², 上野琴巳², 武田真³, 石原亨² (¹鳥取大院・農, ²鳥取大・農, ³岡山大・植物研)

- 17:00 B327 イネにおける植物ホルモン処理と病原菌感染によるフェニルアミド類の誘導
○森本紀子¹, 北野生薫², 上野琴巳¹, 上野誠³, 寺石政義⁴, 奥本裕⁴, 森直樹⁴,
石原亨¹ (¹鳥取大・農, ²鳥大院・農, ³島根大・生物資源, ⁴京大院・農)
- 17:15 B328 イネにおけるジャスモン酸処理による KODE の誘導
○西口沙也加¹, 上野琴巳², 石原亨² (¹鳥取大大学院・農, ²鳥取大・農)
- 17:30 B329 イネの様々な品種におけるファイトアレキシン, サクラネチンとナリングニンの蓄積
○北野生薫¹, 西口沙也加¹, 上野琴巳², 藪田行哲², 寺石政義³, 奥本裕³, 森直樹³, 石原亨² (¹鳥取大院・農, ²鳥取大・農, ³京大院・農)
-

第3日 3月19日(土)午前の部 C会場 (教養講義室等2号館3階604教室)

8:45	C301	1,4-ベンゾジオキサン環を有する JH アンタゴニストの生物活性と体液中の JH I 濃度に与える影響 ○山岸聖 ¹ , 前田慶 ¹ , 山田直子 ¹ , 粥川琢巳 ² , 篠田徹郎 ² , 古田賢次郎 ¹ (¹ 島根大・生資科, ² 生物研)
9:00	C302	テトラヒドロキノリン構造を有する脱皮ホルモンアゴニストの不斉合成 ○横井大洋, 中川好秋, 宮川恒 (京大院・農)
9:15	C303	分子動力学/MM-PBSA による脱皮ホルモンアゴニストの受容体への結合親和性予測 ○幌岩真理, 宮下正弘, 中川好秋, 宮川恒 (京大院・農)
9:30	C304	トロピノンのベンジリデン誘導体の合成とワモンゴキブリのニコチン性レセプターに対する結合活性 ○杉原裕亮, 長谷川和俊, 三島誠司, 池田泉 (島根大・生資科)
9:45	C305	マロノニトリル化合物群の殺虫活性に関する構造活性相関 ○大平大輔, 大下純, 宮崎裕之, 大高健 (住友化学)
10:00	C306	新規殺虫剤フロメトキンに関する研究 (第2報) ○三宅孝明 ¹ , 堀田博樹 ¹ , 島野静雄 ¹ , 堀越亮 ² , 野村昌弘 ² , 山本一美 ² , 志田篤彦 ¹ , 魚本勝人 ² (¹ 日本化薬 (株), ² Meiji Seika ファルマ (株))
10:15	C307	新規殺菌剤ピラジフルミドに関する研究 (第一報) -合成と生物活性- ○織田雅次, 古谷敬, 森下幸生, 松崎義広, 長谷部元宏, 黒木信孝 (日本農薬(株))
10:30	C308	4-(置換フェニル)-4-ピラゾリン-3(2 <i>H</i>)-オン誘導体の合成と除草活性 ○小林修 ¹ , 新倉直子 ¹ , 井上朋子 ¹ , 水田賢志 ¹ , 高綱怜子 ¹ , 平井憲次 ¹ , 白水健太郎 ² , 小幡三代男 ² (¹ 相模中央化学研究所, ² 科研製薬)
10:45	C309	6-(3-オキソ-4-ピラゾリン-4-イル)-2 <i>H</i> -1,4-ベンゾオキサジン-3(4 <i>H</i>)-オン誘導体の合成と除草活性 小林修 ¹ , 新倉直子 ¹ , 井上朋子 ¹ , 水田賢志 ¹ , 高綱怜子 ¹ , ○平井憲次 ¹ , 白水健太郎 ² , 小幡三代男 ² (¹ 相模中央化学研究所, ² 科研製薬)
11:00	C310	新規水稻用除草剤トリアファモンに関する研究 (第1報) -創製- ○佐藤善孝 ¹ , Christopher Rosinger ² , 上野知恵子 ² , Wolfgang Schulte ² , 杉浦健司 ¹ , 白倉伸一 ² , Ramisis Fulgencio ² (¹ バイエル クロップサイエンス(株), ² バイエル クロップサイエンス AG)
11:15	C311	加水分解耐性型ストリゴラクトン受容体阻害剤の創出 ○竹内純, 中村英光, 浅見忠男 (東大院・農生科・応生化)
11:30	C312	ストリゴラクトン受容体阻害剤の探索と機能解析 ○間下大樹志, 小石原暉, 中村英光, 浅見忠男 (東大院・農生科)
11:45	C313	植物カロテノイド酸化開裂酵素阻害剤の創製 ○小石原暉, 高橋郁夫, 浅見忠男 (東大院・農生科)
12:00	C314	ジベレリンミミック AC94377 の作用機構の解析と新規化合物の開発 ○姜凱, 大谷征史, 下高原弘明, 尹禎敏, Seung-Hyun Park, 太田鋼, 中村英光, 中嶋正敏, 浅見忠男 (東京大院・農学生命科学研究科)

第3日 3月19日(土)午後の部 C会場 (教養講義室等2号館3階604教室)

- | | | |
|-------|------|--|
| 13:45 | C315 | 愛知県におけるコナガの36種殺虫剤に対する薬剤感受性の動態および相関性
○平野忠美, 子安英雄, 政美加 (JA あいち経済連営農支援センター) |
| 14:00 | C316 | diazinonを代謝するカイコ・グルタチオン転移酵素の機能解析
○山本幸治, 山田直隆 (九州大大学院・農学研究院) |
| 14:15 | C317 | チャノコカクモンハマキにおけるジアシルヒドラジン系 IGR 抵抗性機構解析
○浅野美和 ¹ , 上樂明也 ¹ , 内山徹 ² , 末次克行 ¹ , 大門高明 ¹ , 小林徹也 ¹ , 小澤朗人 ² , 秋月岳 ¹ , 篠田徹郎 ¹ (¹ 農業生物資源研究所, ² 静岡茶研センター) |
| 14:30 | C318 | QTR 解析とゲノム編集技術を用いたネッタイシマカのピレスロイド剤抵抗性遺伝子探索
○葛西真治, 小川浩平, 糸川健太郎, 駒形修, 富田隆史 (国立感染症研究所・昆虫医科学部) |
| 14:45 | C319 | ミトコンドリア複合体-I による合成ユビキノン QT の還元はプロトン輸送と共役しない
○梶谷貴洋, 奥田健司, 村井正俊, 三芳秀人 (京大院・農・応用生命) |
| 15:00 | C320 | ミトコンドリア複合体-I 阻害剤としてのアミロライド類の作用機構研究
○伊藤剛, 村井正俊, 村上園実, 森坂裕信, 三芳秀人 (京大院・農・応用生命) |
| 15:15 | C321 | 新規殺虫剤標的分子としての昆虫のミトコンドリア膜リン酸輸送体の遺伝子とその機能
菅原亮平 ¹ , 皆葉正臣 ¹ , 上樂明也 ² , 山本武範 ³ , 篠原康雄 ³ , 三芳秀人 ⁴ ,
○塩月孝博 ¹ (¹ 農業生物資源研究所・昆虫科学研究領域, ² 同・農業生物先端ゲノム解析センター, ³ 徳島大学プロテオゲノム研究センター, ⁴ 京都大学大学院農学研究科) |
| 15:30 | C322 | ダイズシストセンチュウの孵化機構に関する研究
○伊藤晋作 ¹ , 野中詩織 ¹ , 細井昂人 ¹ , 勝山勉 ¹ , 内山博允 ² , 近藤竜彦 ³ , 佐々木康幸 ¹ , 矢嶋俊介 ¹ (¹ 東農大・応生, ² 東農大・ゲノムセンター, ³ 名大・生命農学) |
| 15:45 | C323 | カメムシ臭気成分 4-oxo-(E)-2-hexenal の昆虫に対する運動機能阻害活性と昆虫のアルギニンキナーゼ
○野下浩二, 鈴木沙織, 阿部誠, 田母神繁 (秋田県大・生物資源) |
| 16:00 | C324 | カイコオクトパミン受容体 BmOAR1 の分子薬理学的解析
○崎田遼 ¹ , 野田啓太 ² , 山本龍之介 ³ , 大島賢治 ³ , 尾添嘉久 ⁴ , 森村茂 ^{1,2} , 新留琢郎 ^{1,2} , 太田広人 ^{1,2} (¹ 熊本大工・物質生命, ² 熊本大院・自然科学, ³ 熊本高専・専攻科, ⁴ 島根大生資科・生命工) |
| 16:15 | C325 | オクトパミン受容体に対する殺ダニ剤アミトラズの作用
○美里成志 ¹ , 林剛志 ¹ , 高須浩 ¹ , 太田広人 ² , 尾添富美代 ¹ , 尾添嘉久 ¹ (¹ 島根大・生資科, ² 熊本大院・工) |
| 16:30 | C326 | X あるいは X ₂ 置換 γ-BHC 類縁体 (C ₆ H ₅ XC1 ₆ , C ₆ H ₄ X ₂ Cl ₆) の GABA アンタゴニスト活性
○岩井崇晃 ¹ , 坂本賢昭 ¹ , 永崎果鈴 ¹ , 松田一彦 ¹ , 尾添嘉久 ² , 田中啓司 ³ (¹ 近畿大農, ² 島根大生物資源科, ³ 近畿大農/名古屋大 iMass 研) |

- 16:45 C327 γ -BHC 骨格上の塩素原子の意味に迫る試み
坂本賢昭¹, ○加藤靖児¹, 松田一彦¹, 尾添嘉久², 田中啓司³ (¹近畿大農, ²島根大生物資源科, ³近畿大農/名古屋大 iMass 研)
- 17:00 C328 Heptachlor, Heptachlor epoxide の各鏡像体の GABA アンタゴニスト活性
○木下泰輔¹, 松田一彦¹, 尾添嘉久², 田中啓司³ (¹近畿大農, ²島根大生物資源科, ³近畿大農/名古屋大 iMass 研)
- 17:15 C329 OCR 系イエバエ (Dieldrin 抵抗性) に対する Dieldrin, Endrin, γ -BHC 類縁体の殺虫活性と GABA アンタゴニスト活性
○高市成美¹, 松田一彦¹, 尾添嘉久², 田中啓司³ (¹近畿大農, ²島根大生物資源科, ³近畿大農/名古屋大 iMass 研)
- 17:30 C330 4-(3-Biphenyl)-5-(4-piperidyl)-3-isoxazolol, an effective orthosteric ligand of insect GABA receptors
○Genyan Liu¹, Bente Frølund², Yunosuke Nakata¹, Fumiyo Ozoe¹, Yoshihisa Ozoe¹ (¹Fac. Life Environ. Sci., Shimane Univ., ²Fac. Health Med. Sci., Univ. Copenhagen)
- 17:45 C331 フルアラネル, フィプロニルおよびイベルメクチンのグルタミン酸作動性塩素イオンチャネルに対する作用
○中田侑之介¹, 旭美穂², 中平国光², 尾添富美代¹, 尾添嘉久¹ (¹島根大・生資科, ²日産化学・生科研)
- 18:00 C332 グルタミン酸および GABA 作動性イオンチャネルに対する駆虫薬イベルメクチンの作用
○布施利紀¹, 喜多知², 中田侑之介³, 尾添富美代³, 尾添嘉久^{1,3} (¹鳥取大院・連農, ²富山県大・工, ³島根大・生資科)
-

会場案内

くにびきメッセ(島根県立産業交流会館) (<http://www.kunibikimesse.jp/19.html>)

(総会, 学会賞授賞式, 受賞講演, 特別講演)

航空機をご利用の場合の最寄りの空港は出雲空港(JAL)または米子空港(ANA)です。

出雲空港から空港連絡バスで「松江駅」下車(所要約30分), 米子空港から空港連絡バスで「松江駅」下車(所要約45分)。

JR松江駅より徒歩7分, 駐車場あり。

ホテル一畑 (<http://www.ichibata.co.jp/hotel/access.html>)

(懇親会, 受賞祝賀会)

JR松江駅①番バス乗り場から松江市営バス「北循環線外回り」またはJR松江駅③番バス乗り場から「松江しんじ湖温泉駅」行, 「福祉センター」行または「授産センター」行で「松江しんじ湖温泉駅」下車(所要約15分)。

「くにびきメッセ前」から松江市営バス「北循環線外回り」で「松江しんじ湖温泉駅」下車(途中「松江駅」で約20分の時間調整があります)(所要約45分)。

「くにびきメッセ前」から松江市営バス「北循環線内回り」で「松江しんじ湖温泉駅」下車(所要約35分)。

なお, 特別講演終了後, くにびきメッセから懇親会・受賞祝賀会会場のホテル一畑への移動にはシャトルバスを用意する予定です。ぜひご利用ください。

くにびきメッセ, ホテル一畑 案内図



島根大学（松江キャンパス）・大学ホール，教養講義室棟2号館

(http://www.shimane-u.ac.jp/campus_maps/map_matsue.html)

（一般講演，シンポジウム，ランチョンセミナー，展示）

JR松江駅①番バス乗り場から松江市営バス「北循環線内回り」で「島根大学前」下車(所要約15分)またはJR松江駅②番バス乗り場から松江市営バス「島根大学・川津」行で「島根大学前」下車(所要約20分)。

JR 松江駅②番バス乗り場から一畑バス「美保関ターミナル」行または「マリンゲートしまね」行で「島根大学前」下車(所要約20分)。

駐車場数台収容可能。

島根大学松江キャンパス構内 案内図



教養講義室棟 2 号館および大学ホール(A 会場) 案内図

